

ブロックだより

東北ブロック総会 (山形県支部主催)



部内のホテルで実施することができました。東北六県のうち青森県が欠席となり5県から10名の出席を得て開催しました。通信教育部校友会本部から山本良吉副会長の来賓出席をいただき祝辞を賜りました。ご自身の体験から得た人生訓を話され私たちを諭されたように思いました。

秋田県の佐藤朋夫支部長が現在のブロック長で議長となり話し合いが進みました。各県ともコロナ禍の影響により、支部総会が開けなかつたり、支部会員からの年会費納入を停止したり、校友会報の発送ができなかった話など困った報告が多数ありました。それでも校友会活動は継続していくことが重要との認識のもと、年一回のブロック総会を大切に、ブロックの絆を深めようと話し合いました。

久しぶりの懇親会開催となり、コロナ感染防止に気を付けながら楽しく飲食し、再会を期して終了しました。

開催にあたり、通信教育部長や通信教育部校友会本部から多大のお祝いをいただきましたことに感謝申し上げ、東北ブロック総会の報告いたします。

(文責:大塚 勝衛)

北信越ブロック総会 (新潟県支部主催)



令和4年度北信越ブロック総会を新潟県支部が担当して令和4年10月16日(日)午後3時30分から越後湯沢町「湯沢ニューオータニ」にて開催いたしました。

コロナウイルス感染拡大で令和2年度、3年度と開催することが出来なく、令和4年の開催も感染状況を見ながら感染防止対策を徹底して何とか開催することが出来ました。

総会は新潟県支部清野幹事長が進行役を務め、来賓として通信教育部より瀬川一之事務局長、通信教育部校友会本部より鈴木勝会長の出席をいただきブロック各県より15名の参加をいただきました。総会を開催いたしました。

入を停止したり、校友会報の発送ができなかった話など困った報告が多数ありました。それでも校友会活動は継続していくことが重要との認識のもと、年一回のブロック総会を大切に、ブロックの絆を深めようと話し合いました。

久しぶりの懇親会開催となり、コロナ感染防止に気を付けながら楽しく飲食し、再会を期して終了しました。

開催にあたり、通信教育部長や通信教育部校友会本部から多大のお祝いをいただきましたことに感謝申し上げ、東北ブロック総会の報告いたします。

(文責:大塚 勝衛)

令和4年度北信越ブロック総会を新潟県支部が担当して令和4年10月16日(日)午後3時30分から越後湯沢町「湯沢ニューオータニ」にて開催いたしました。

コロナウイルス感染拡大で令和2年度、3年度と開催することが出来なく、令和4年の開催も感染状況を見ながら感染防止対策を徹底して何とか開催することが出来ました。

総会は新潟県支部清野幹事長が進行役を務め、来賓として通信教育部より瀬川一之事務局長、通信教育部校友会本部より鈴木勝会長の出席をいただきブロック各県より15名の参加をいただきました。総会を開催いたしました。

入を停止したり、校友会報の発送ができなかった話など困った報告が多数ありました。それでも校友会活動は継続していくことが重要との認識のもと、年一回のブロック総会を大切に、ブロックの絆を深めようと話し合いました。

久しぶりの懇親会開催となり、コロナ感染防止に気を付けながら楽しく飲食し、再会を期して終了しました。

開催にあたり、通信教育部長や通信教育部校友会本部から多大のお祝いをいただきましたことに感謝申し上げ、東北ブロック総会の報告いたします。

(文責:大塚 勝衛)

近畿ブロック総会

令和3年度近畿ブロック総会を同4年3月に書面で開催しました。

立花奈良支部長兼近畿ブロック長の挨拶、当番支部である大阪府支部長挨拶に続き、令和4年度活動計画を発表しました。

活動計画の中でも述べ

(文責:矢田 健二郎)

中国ブロック総会



総会には、通信教育部校友会鈴木勝会長をはじめ、来賓に日大校友会広島支部長上重則之さん、幹事長の丸茂裕樹さんを迎え、計14人の参加となりました。

総会は、開会の辞から始まり、物故者への黙祷、校歌斉唱、中国ブロック長挨拶、来賓挨拶、鈴木会長の話であった。

次に議長を選出し、議事に移った。①校友会近況報告では鈴木会長から、不祥事に対し、原因究明と再発防止に向けて取り組みを続けている旨、報告があった。さらに、日本大学の信頼を取り戻すために改革計画を策定していくと決意表明があった。

②各県支部活動状況報告では、支部会員の高齢化と活動の難しさに挑戦しつつ、コロナの中で紙上総会の開催、支部の皆さんへのアンケート調査の実施、支部通信の発行など、LINE会議の開催等を活発に実施していると報告があった。また、隣県支部の休眠に対し、周辺県

令和4年度北信越ブロック総会を新潟県支部が担当して令和4年10月16日(日)午後3時30分から越後湯沢町「湯沢ニューオータニ」にて開催いたしました。

コロナウイルス感染拡大で令和2年度、3年度と開催することが出来なく、令和4年の開催も感染状況を見ながら感染防止対策を徹底して何とか開催することが出来ました。

総会は新潟県支部清野幹事長が進行役を務め、来賓として通信教育部より瀬川一之事務局長、通信教育部校友会本部より鈴木勝会長の出席をいただきブロック各県より15名の参加をいただきました。総会を開催いたしました。

入を停止したり、校友会報の発送ができなかった話など困った報告が多数ありました。それでも校友会活動は継続していくことが重要との認識のもと、年一回のブロック総会を大切に、ブロックの絆を深めようと話し合いました。

久しぶりの懇親会開催となり、コロナ感染防止に気を付けながら楽しく飲食し、再会を期して終了しました。

開催にあたり、通信教育部長や通信教育部校友会本部から多大のお祝いをいただきましたことに感謝申し上げ、東北ブロック総会の報告いたします。

(文責:大塚 勝衛)

支部総会

北海道後志支部

令和4年後半に入つてもコロナ禍による感染者数は、若干の減少を見てはいるものの、落ち着くようすはありません。

北海道後志支部は令和2・3年を筆面開催としましたが、令和4年には何とか対面での開催を望んでいました。しかし結果として、コロナ禍への対応優先ということで、書面による総会の開催となり、8月1日に総会議案を送付しました。

北海道各地でヒグマの出没が相次いでいます。これからは冬ごもりに備え、餌の食いだめのため住宅にも出回る回数も増えます。

(文責:奈良 清)

千葉県支部

令和4年7月3日(日)に、校歌斉唱市原市「サンプラザ市原」において、第49回定期総会を開催いたしました。

本年は、昭和47年(1972年)に支部の会則が発行されてから50年となり、「千葉県支部設立50周年記念」と銘打つての総会となりました。

当日は来賓に通信教育部校友会長・鈴木勝氏をお迎えし、5名の支部校友を含め、17名が出席されました。

議事に入る前に、物故者およびウクライナで犠牲になった方々に黙とうを捧げました。

式次第は次の通りです。

一、開会の辞 黒岩幹事

東京都支部

令和3年度(第56期)東京都支部定期総会については、依然として東京都は「新型コロナウイルス」による感染者数も多く、非常に残念ですが、中止せざるを得ない状況下にあります。

もともと今回は総会を開催すべく準備を進めており、総会資料を揃えるため、まずは決算書を用意し、監査を令和4年5月14日(日)正午より通信教育部3号館において実施しました。

しかしながら、支部役員が集めて真剣に討議した結果、頭書の総会を中止することに決定しました。

令和4年度(第3回)神奈川県支部総会は、6月25日(日)小田急新百合ヶ丘駅改札口13時参集から始まりました。当日は5名が出席し、本間道明氏1名が体調不良で欠席であった。

当日は梅雨明け宣言がまだないにもかかわらず、恵まれすぎる晴天となりました。会場への道中は、とても梅雨時とは感じられず、報道でも「梅雨明けもあり得る」旨のコメントが流れる中、夏をも凌ぐほどの暑さで、ようやく総会会場エルミロード5階但馬屋に漕ぎつけた感である。

それでも、支部校友の心中も晴れ晴れとしており、総会は式次第に沿って和やかに進んだ。

総会では、いまだコロナ禍であることと場所柄もあり、校歌斉唱は控え、今回は「日本大学の使命」を読み上げた。

ご多忙にもかかわらず同席いただいた鈴木勝会長の挨拶で、会はより一層の深み・コクのあるまろ

(文責:高垣 むつ子)

神奈川県支部

令和4年度(第3回)神奈川県支部総会は、6月25日(日)小田急新百合ヶ丘駅改札口13時参集から始まりました。当日は5名が出席し、本間道明氏1名が体調不良で欠席であった。

当日は梅雨明け宣言がまだないにもかかわらず、恵まれすぎる晴天となりました。会場への道中は、とても梅雨時とは感じられず、報道でも「梅雨明けもあり得る」旨のコメントが流れる中、夏をも凌ぐほどの暑さで、ようやく総会会場エルミロード5階但馬屋に漕ぎつけた感である。

それでも、支部校友の心中も晴れ晴れとしており、総会は式次第に沿って和やかに進んだ。

総会では、いまだコロナ禍であることと場所柄もあり、校歌斉唱は控え、今回は「日本大学の使命」を読み上げた。

ご多忙にもかかわらず同席いただいた鈴木勝会長の挨拶で、会はより一層の深み・コクのあるまろ

(文責:高垣 むつ子)



日本大学通信教育部校友会千葉県支部 第49回定期総会 千葉県支部設立50周年記念

令和4年度北信越ブロック総会を新潟県支部が担当して令和4年10月16日(日)午後3時30分から越後湯沢町「湯沢ニューオータニ」にて開催いたしました。

コロナウイルス感染拡大で令和2年度、3年度と開催することが出来なく、令和4年の開催も感染状況を見ながら感染防止対策を徹底して何とか開催することが出来ました。

総会は新潟県支部清野幹事長が進行役を務め、来賓として通信教育部より瀬川一之事務局長、通信教育部校友会本部より鈴木勝会長の出席をいただきブロック各県より15名の参加をいただきました。総会を開催いたしました。

入を停止したり、校友会報の発送ができなかった話など困った報告が多数ありました。それでも校友会活動は継続していくことが重要との認識のもと、年一回のブロック総会を大切に、ブロックの絆を深めようと話し合いました。

久しぶりの懇親会開催となり、コロナ感染防止に気を付けながら楽しく飲食し、再会を期して終了しました。

開催にあたり、通信教育部長や通信教育部校友会本部から多大のお祝いをいただきましたことに感謝申し上げ、東北ブロック総会の報告いたします。

(文責:大塚 勝衛)